

# 第51回

## 桜島火山爆発総合防災訓練

### (住民避難訓練)

### 実施要領

テーマ

「自助・共助・公助が連携した  
タイムラインに基づく  
実践的な桜島避難訓練」

開催日時 令和2年11月14日(土)  
8時30分から12時00分まで

開催場所 桜島全域、溶岩グラウンド、桜島補助体育館

鹿児島市

# 目 次

ページ

I	桜島火山爆発総合防災訓練（住民避難訓練）実施概要	1
II	訓練基本想定	2
III	訓練参加機関及び団体による訓練種目・訓練内容	4
IV	訓練種目別実施細目	6

# 1 桜島火山爆発総合防災訓練（住民避難訓練）実施概要

## 1 目的

本市地域防災計画「火山災害対策編」等に基づき、自主防（町内会）と消防団等が連携したタイムラインによる住民主体の避難訓練や、避難促進施設の避難確保計画に基づく避難訓練により、自助・共助による避難意識の向上を図るとともに、令和元年度に見直した島外避難計画における避難用バスの確保からバス避難までの実践に即した訓練を実施し、計画の実効性を向上させる。

## 2 訓練実施日時 令和2年11月14日（土） 8時30分から12時00分まで

※ 気象台からの警報発表や異常現象等が発生し、その対策を要するときは本訓練を中止することがあります。（中止の場合は、当日午前7時までにLINEとHPでお知らせします。）

## 3 訓練実施場所 鹿児島市

主会場：桜島全域、溶岩グラウンド、桜島補助体育館

## 4 テーマ

「自助・共助・公助が連携したタイムラインに基づく実践的な桜島避難訓練」

## 5 訓練参加機関及び団体

(1)	鹿児島市	(34)	鹿児島市東桜島地区町内会
(2)	鹿児島市消防局	(35)	鹿児島市桜島地域公民館連絡会
(3)	鹿児島市消防団	(36)	桜島港フェリーターミナル（避難促進施設）
(4)	鹿児島市立病院	(37)	国民宿舎レインボー桜島（避難促進施設）
(5)	鹿児島市交通局	(38)	桜島シーサイドホテル（避難促進施設）
(6)	鹿児島市船舶局	(39)	さくらじまホテル（避難促進施設）
(7)	鹿児島市救難所	(40)	有村溶岩展望所（避難促進施設）
(8)	鹿児島県 危機管理防災局	(41)	湯之平展望所（避難促進施設）
(9)	鹿児島県 鹿児島地域振興局	(42)	桜島海釣り公園（避難促進施設）
(10)	鹿児島県 防災航空センター	(43)	桜島ビジターセンター（避難促進施設）
(11)	鹿児島県警察本部	(44)	改新交流センター（避難促進施設）
(12)	鹿児島中央警察署	(45)	桜島総合体育館（避難促進施設）
(13)	鹿屋警察署	(46)	道の駅桜島火の島めぐみ館（避難促進施設）
(14)	九州管区警察局鹿児島県情報通信部	(47)	旅の駅桜島物産館（避難促進施設）
(15)	鹿児島地方気象台	(48)	さくらじま白浜温泉センター（避難促進施設）
(16)	鹿児島海上保安部	(49)	桜島国際火山砂防センター（避難促進施設）
(17)	大隅河川国道事務所	(50)	東桜島保育園（避難促進施設）
(18)	鹿児島森林管理署	(51)	桜島保育園（避難促進施設）
(19)	陸上自衛隊第12普通科連隊	(52)	桜島学園（避難促進施設）
(20)	海上自衛隊鹿屋基地第1航空群	(53)	桜島苑（避難促進施設）
(21)	鹿児島県建設業協会鹿児島支部	(54)	高齢者福祉センター桜島（避難促進施設）
(22)	桜島地域建設防災対策協議会	(55)	高齢者福祉センター東桜島（避難促進施設）
(23)	鹿児島ドローン協会	(56)	グループホームさくらじま（避難促進施設）
(24)	京都大学防災研究所附属火山活動研究センター	(57)	桜峰幼稚園（避難促進施設）
(25)	鹿児島大学	(58)	桜洲小学校・桜洲児童クラブ（避難促進施設）
(26)	鹿児島国際航空株式会社	(59)	桜峰小学校・桜峰児童クラブ（避難促進施設）
(27)	鹿児島県災害派遣医療チーム（DMAT）	(60)	東桜島小学校・東桜島児童クラブ（避難促進施設）
(28)	公益社団法人鹿児島市医師会	(61)	黒神小学校（避難促進施設）
(29)	日本赤十字社鹿児島県支部	(62)	桜島中学校（避難促進施設）
(30)	隊友会鹿児島地区協議会	(63)	東桜島中学校（避難促進施設）
(31)	一般社団法人鹿児島県LPガス協会	(64)	桜島病院（避難促進施設）
(32)	協和交通	(65)	さくらじま旬彩館
(33)	日本自動車連盟鹿児島支部（JAF）	(66)	桜島ジオサルク

## II 訓練基本想定

### 1 週間前

桜島の北東部及び南西部での火山性地震及び地殻変動は増加傾向を示し、鹿児島地方気象台から火山に関する情報が発表された。同日県は、「第1回桜島火山防災連絡会」を開催、今後の火山状況及び被害範囲の予測について情報共有を行い、今後の対策等について確認した。

この連絡会において、今後、火山活動がさらに活発化の様相を呈した場合、再度速やかに「桜島火山防災連絡会」を開催し、想定される噴火規模による被害の影響範囲や、影響範囲からの避難の必要性、手段、タイミング等について検討することを確認した。

### 1 1月13日（金）（前日）火山の状況に関する解説情報（臨時）発表

13日（前日）午前9時頃から、桜島島内を震源とする火山性地震が増加し、有感地震も増加傾向にあった。南岳山頂火口や昭和火口から噴火が断続的に発生した。

気象台は、13日午後3時00分に臨時の火山解説情報及び噴火警戒レベル4警戒範囲（3Km圏内）を発表した。

鹿児島市は同時刻に災害対策本部を設置し、南岳山頂火口から3km圏内の住民に避難勧告を発令した。また、噴火時等に形成される火口の位置が両庁舎に影響を及ぼすことが予想されるため、現地災害対策本部を桜島港フェリーターミナルに設置した。

### 1 1月14日（土）（午前9時30分）噴火警戒レベル4（避難準備）警戒範囲（全島）

14日午前5時頃から島内の傾斜計で、顕著な地殻変動を観測。火山性地震も再び急増。さらに、午前8時50分までの12時間で、桜島付近を震源とするマグニチュード2以上の地震が10回以上観測された。

気象台は、午前9時30分、噴火警戒レベル4（避難準備）警戒範囲（全島）を発表。

**市は午前9時30分桜島全島に避難準備・高齢者等避難開始を発令した。**

#### 想定1【桜島白浜町から西側及び東桜島町から西側】

市災害対策本部は、バスと桜島フェリー（救難船舶）によるバス乗車フェリー避難を決定した。

#### 想定2【高免町から東側】

市災害対策本部は、バスによるバス乗車陸路避難を決定した。

### 1 1月14日（土）（午前10時30分）噴火警戒レベル5（避難）警戒範囲全島

山体膨張を示す急激な地殻変動は継続し、火山性地震は更に増加する中、午前10時5分に桜島付近を震源とするマグニチュード5.0の地震が発生した。

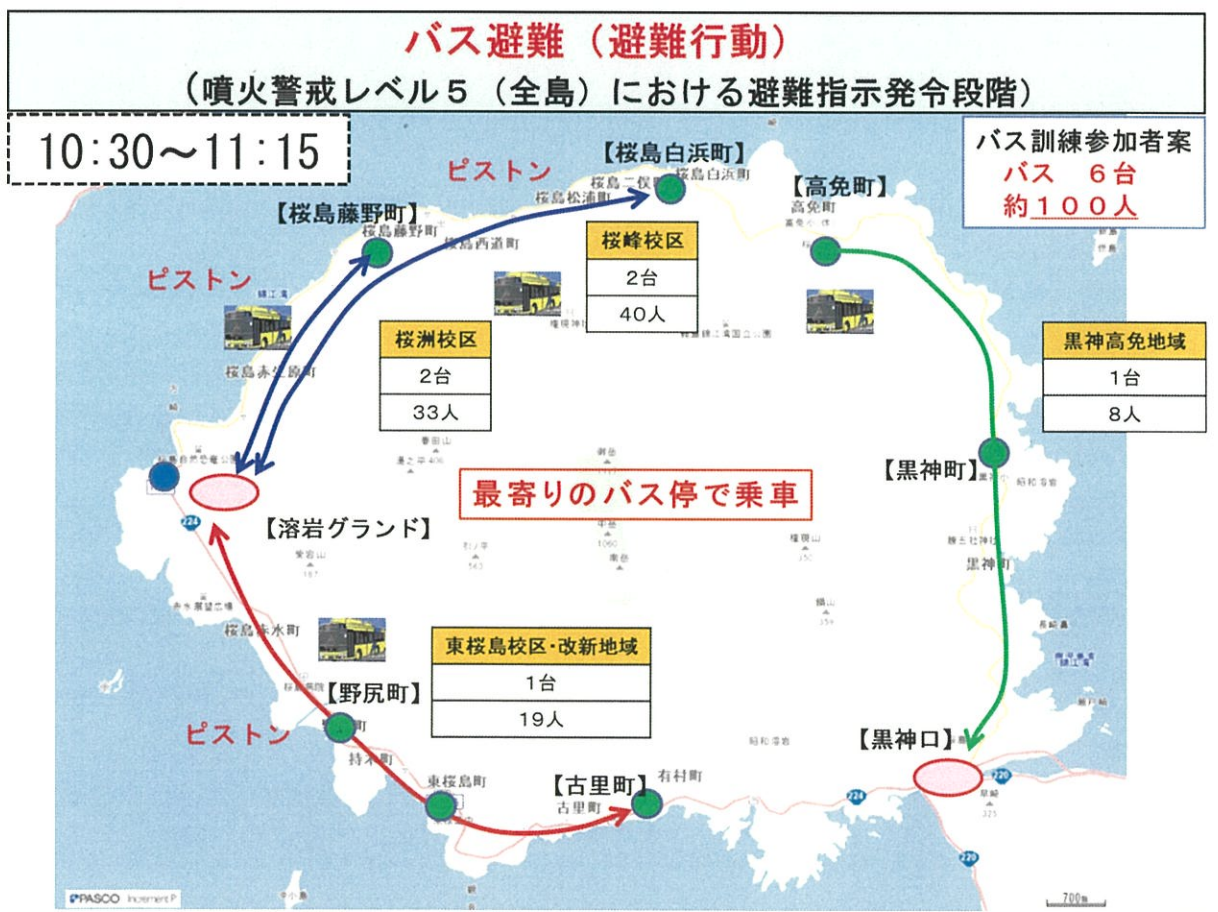
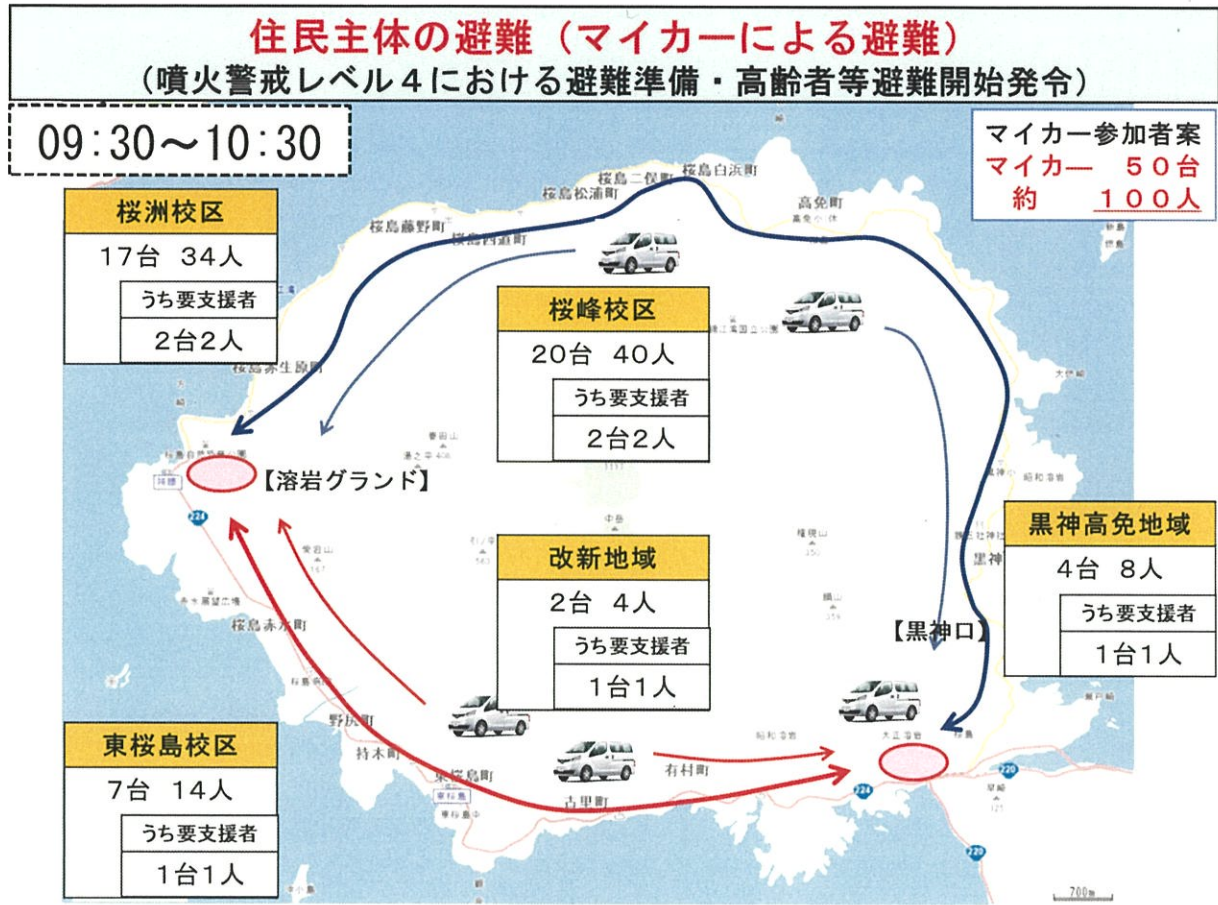
気象台は、午前10時30分に噴火警戒レベル5（避難）を発表。警戒範囲を桜島全域とした。

**これを受けて、市は午前10時30分桜島全島に避難指示（緊急）を発令した。**

※ 14日午後10時頃に山腹から白い噴気が発生。午後11時05分頃に西側山腹から噴火。その後、午後11時15分頃に東側山腹からも噴火。

15日午前2時過ぎに爆発音を伴う激しい噴火が始まった。

午前7時00分頃に、鹿児島湾を震源とするM7.1の地震（震度6強）が発生。



Ⅲ 訓練参加機関及び団体による訓練種目・訓練内容【令和2年11月14日(土)】

区分	訓練種目	訓練内容	実施機関	訓練場所	
情報収集	1 情報収集訓練	噴火警戒レベル4～5の各段階での現地災害対策本部における情報収集を実施する。	全参加機関	桜島島内	
	災害対策本部	2 災害対策本部設置訓練	鹿児島市は災害対策本部の設置を行う。	鹿児島市	桜島港フェリーターミナル1F
		3 災害対策部災害対応訓練	鹿児島市地域防災計画に定められている対策部ごとに、「災害対策部災害対応訓練」を実施する。	鹿児島市	勤務場所等
		4 広報対応訓練	住民の避難状況等について、市災害対策本部が広報対応を行う。	鹿児島市広報課	勤務場所等
		5 集結訓練	桜島地区における活動拠点までの集結訓練を行う。	鹿児島市消防局 鹿児島市消防団	桜島島内
現地災害対策本部	6 現地災害対策本部設置・運営訓練	桜島フェリーターミナルに桜島支所長を本部長とする現地災害対策本部を設置する。	鹿児島市 鹿児島市消防局	桜島港フェリーターミナル2F	
	7 現地活動調整所設置・運営訓練	警察、消防、自衛隊、海上保安部をはじめとする関係機関の活動調整のため現地活動調整所を現地災害対策本部同フロア内に設置し、情報共有及び調整を行い、現地災害対策本部に報告する。 現地災害対策本部付近に無線臨時基地局を設置し、警察部隊間の無線通信を確保する。 移動カメラを使用し、災害現場映像等を現地災害対策本部に映像伝送する。	鹿児島市 鹿児島市消防局 鹿児島県 鹿児島県警 九州管区警察局鹿児島県情報通信部 県防災航空センター 陸上自衛隊 海上自衛隊 海上保安庁	桜島港フェリーターミナル2F	
	8 被害状況調査訓練	上空、陸上、海上からの被害状況の調査把握を行う。	鹿児島市消防局 鹿児島市消防団 鹿児島県警 陸上自衛隊 海上自衛隊 航空自衛隊 海上保安庁	桜島島内	
	9 オフロードバイク搬送・情報収集訓練	警察用船舶においてオフロードバイクを桜島へ搬送し、オフロードバイクで情報収集を実施する。	鹿児島県警	桜島島内	
住民避難	10 サイレン一斉吹鳴【避難指示等】	避難情報に伴うサイレン吹鳴を行う。	鹿児島市	桜島島内	
	11 住民避難に関する連絡・調整	各地域において、町内会・民生委員・消防団がタイムラインに基づき、要支援者等の避難について調整を行う。(3者調整会議)	町内会(自主防災組織) 民生委員 消防分団 住民	桜島島内	
	12 共助による住民避難訓練	地域住民は避難訓練を実施する。 対象地域において、消防団等は避難誘導、残留者の確認等を実施する。	鹿児島市 鹿児島市消防局・交通局・船舶局 鹿児島市消防団 鹿児島県警 桜島地域建設防災対策協議会 住民ほか	桜島島内	
	13 避難者救護訓練	避難住民の救護・体調管理のため桜島港フェリーターミナルに救護所を設置する。(想定)	鹿児島県DMAT 鹿児島市医師会 日本赤十字社鹿児島県支部	桜島港フェリーターミナル 桜島フェリー	
	14 避難促進施設避難訓練	桜島島内の集客施設等の避難促進施設の避難訓練を実施する。	集客施設等避難促進施設	桜島島内	



区分	訓練種目	訓練内容	実施機関	訓練場所
住民避難	15 残留者捜索訓練	陸上から消防・警察・自衛隊、空から自衛隊・海上保安庁・ドローンによる残留者捜索活動を実施する。	鹿児島市消防局 鹿児島市消防団 鹿児島県警 陸上自衛隊 鹿児島県建設業協会鹿児島支部 鹿児島ドローン協会	桜島島内
	16 警察用船舶による避難広報訓練	警察用船舶により海上から避難広報を実施する。	鹿児島県警	東桜島地区周辺沿岸部
	17 放置車両除去・救出訓練	施設された放置車両に傷病者を発見し、車外への救出と施設の出入り口通行路を確保するために、車両の除去を実施する。	日本自動車連盟鹿児島支部 鹿児島市消防局 桜島苑	桜島苑
	18 傷病者等救出・搬送訓練	避難促進施設の傷病者等をDMAT車両及びヘリにより搬送する。	海上保安庁 海上自衛隊 鹿児島県DMAT 避難促進施設	避難促進施設 桜島多目的広場 野尻ヘリポート
	19 観光客等避難・誘導訓練	認定ジオガイドによる観光客の避難誘導訓練を実施し、桜島の防災対策について、市民への啓発・周知を実施する。	桜島ジオサルク 桜島・錦江湾ジオパーク推進協議会	桜島島内
	20 観光施設対応訓練	観光施設等への情報伝達訓練、観光施設等への立入禁止表示等の設置を行う。	鹿児島市観光交流局 桜島地域建設防災対策協議会 桜島地域観光施設等	桜島地域観光施設ほか
	21 工事関係者避難訓練	桜島全島に避難準備が発令されたことを受け、島内で作業中の工事関係者に発注機関（担当）から連絡し、避難情報を伝達する。	大隅河川国道事務所 鹿児島県森林管理署 工事関係者	桜島島内
	22 避難車両誘導訓練	桜島全島に避難準備が発令されたことを受け、大隅河川国道事務所及び警察は鹿児島市と連携し、島内住民の円滑な避難のため、避難車両の誘導を実施する。	鹿児島市、大隅河川国道事務所	桜島島内
	23 道路情報板表示訓練	桜島全島に避難準備が発令されたことを受け、道路情報板により、道路利用者へ情報提供を実施する。	大隅河川国道事務所	桜島島内
	24 映像伝送訓練	桜島島内における活動状況等をヘリサットシステムにて撮影し、映像伝送を実施。人口衛星を介して無線中継車で映像を受信し、現地指揮本部に映像配信を行う。	県防災航空センター 鹿児島市消防局	桜島島内 現地指揮本部
	25 航空運用調整訓練	地上の運用調整班において、飛来する関係各機関の航空機の飛行進行調整を実施する。	県防災航空センター 鹿児島国際航空株式会社	桜島支所
	26 撤収訓練	残留者捜索終了後、島内からの撤収行動を開始する。	鹿児島市消防局 鹿児島市消防団	桜島島内
	27 LINEを活用した関係機関等の情報共有	LINEのOpenChat（オープンチャット）機能を活用して関係機関の情報共有を図る。	全参加機関	桜島島内
	28 海面監視訓練	高所監視カメラ及び消防車による高台からの沿岸部の海面監視を行う。	鹿児島市消防局	桜島島内
29 火山砂防観測機器設置訓練	火山噴火に起因する土石流等の災害に迅速に対処するために、溪流内へ観測機器を設置し、想定される災害から保全対象地の減災を図る。	九州地方整備局 陸上自衛隊	桜島島内	
30 火山砂防情報伝達訓練	昭和火口からの噴石や火砕流・降灰を想定して、情報収集・情報伝達を行い、想定される災害から保全対象地の減災を図る。	九州地方整備局 大隅河川国道事務所	桜島島内	
31 炊飯支援訓練	桜島住民の避難に伴い、炊き出しを実施する。	さくらじま旬彩館 学生消防団	桜島補助体育館	

#### Ⅳ 訓練種目別実施細目【令和2年11月14日（土）】

番号	訓練種目	時間	想定又は状況
1	情報収集訓練	8:30 ┆ 12:00	訓練想定に準じる。
2	災害対策本部設置訓練	(想定) 11/13 15:00	気象台の噴火警報（レベル4、避難準備）の発表に伴い、鹿児島市災害対策本部を設置した。
3	災害対策部災害対応訓練	8:30 ┆ 12:00	訓練想定に準じる。
4	広報対応訓練	8:00 ┆ 12:00	避難情報発令の広報訓練
5	集結訓練	7:00 ┆ 8:45	桜島地区における活動拠点までの集結訓練を行う。
6	現地災害対策本部 設置・運営訓練	8:30 ┆ 12:00	現地災害対策本部を桜島港フェリーターミナル2Fに設置した。
7	現地活動調整所 設置・運営訓練	8:30 ┆ 12:00	鹿児島市、陸上自衛隊、海上自衛隊、海上保安庁、県警察、消防、防災航空センターの各機関は、活動調整のため現地活動調整所を現地災害対策本部に設置した。
8	被害状況調査訓練	9:00 ┆ 12:00	自衛隊、海上保安庁、県警察本部、県防災航空センター、消防の各機関は、桜島島内及びその周辺の被害状況調査を実施した。
9	警察用船舶による オフロードバイク搬送・ 情報収集訓練	8:30 ┆ 9:00	噴火警戒レベル4引き上げ事前連絡により先行情報班を桜島に搬送
10	サイレン一斉吹鳴 【避難情報等】	9:30 10:30	11月14日、桜島の住民に対し9時30分に避難準備・高齢者等避難開始、10時30分に避難指示（緊急）が発令された。



行 動 の 概 要	実施機関及び協力機関	
	機 関	名
噴火警戒レベル4～5の各段階での現地災害対策本部における情報収集の実施	全参加機関	
鹿児島市災害対策本部を設置する。	鹿児島市	
鹿児島市地域防災計画に定められている対策部ごとに訓練内容、参加人員、実施時間等を企画し、各対策部でそれぞれ訓練を実施する。	鹿児島市	勤務場所
①HPでの情報発信訓練 発令情報をHPに表示する。(訓練表示) ②SNSでの情報発信訓練 発令情報をSNSで発信する。 ※模擬訓練(文章作成のみ) ③報道機関への放送要請訓練 FAXによる放送要請を行う	鹿児島市	HP等
桜島地区における活動拠点までの集結訓練を行う。	鹿児島市消防局 鹿児島市消防団	消防車両 消防団車両
町内会単位の避難情報の集約 島内避難用バスへの指示 その他避難情報の集約 避難時のトラブル等への対応	鹿児島市 鹿児島市消防局	公用車2台
鹿児島市、陸上自衛隊、海上保安庁、県警察本部、消防、防災航空センターなどの各機関は現地災害対策本部に現地活動調整所を設置。各機関は現地活動調整所に連絡調整員等を派遣し、情報の共有化を図るとともに活動に係る調整を行う。	鹿児島市 鹿児島県 陸上自衛隊、海上自衛隊 海上保安庁 防災航空センター 鹿児島県警察 鹿児島市消防局	
自衛隊、海上保安庁、県警察本部、消防の各機関は、人員・車両・船舶等を活用して、上空、陸上、海上から桜島島内及びその周辺の被害状況調査を実施し、災害対策本部に報告する。	陸上自衛隊 海上自衛隊 鹿児島海上保安部 海上保安庁 県警察本部 鹿児島市消防局 鹿児島市消防団	自衛隊車両・ヘリ UH-60 巡視船(艇) ヘリ 警察車両・ヘリ 消防車両 消防団車両
オフロードバイクを警察用船舶に積み込み、赤生原漁港(漁港桜島支所付近)に搬送 オフロードバイクにより、桜島島内の避難状況等の情報収集を実施	県警地域課船舶係 県警交通機動隊	警察用船舶 オフロードバイク×2
市災害対策本部は、防災行政無線において、避難準備・高齢者等避難開始及び避難指示(緊急)の一斉放送を行う。	鹿児島市	

番号	訓練種目	時間	想定又は状況	行 動
				桜島白浜町から西側及び東桜島町から西側
11	住民避難に関する 連絡・調整	8:30 5 9:30		町内会、民生委員、消防団は、タイムラインに基づき、住民避難について調整
12-1	自助・共助による 住民避難訓練	9:30 5 10:30	<p>1【避難準備・高齢者等避難開始の発令】 鹿児島市災害対策本部は桜島地域に避難準備・高齢者等避難開始を発令。高齢者等の住民は早めの避難を開始し、市街地の避難所に向かった。 また、避難指示が発令された際の住民輸送の方法を決定した。 〔桜島白浜町から西側及び有村町から西側〕 ⇒ バス乗車フェリー避難 〔高免町から東側〕 ⇒ バス乗車陸路避難</p> <p>2【避難用バス・船舶の派遣要請等】 ①鹿児島市災害対策本部は、船舶局に対し、防災機関の優先搬送及び救難船舶として活動するよう指示した。 ②鹿児島市災害対策本部は、避難用バスの派遣を交通局に指示した。 また、垂水市にもバス派遣の協力を要請した。</p> <p>3【避難指示（緊急）の発令】 鹿児島市災害対策本部は桜島地域の住民に対し、避難指示を発令した。</p>	<p>1【避難準備・高齢者等避難開始の発令】 町内会、民生委員、消防団は、タイムラインに基づき、共助による要支援者避難行動を開始する。 高齢者等は、マイカーにて自主避難を開始する。</p> <p>2【避難用バス・船舶の派遣要請等】 ①船舶局は、防災機関及び住民搬送のための対応を行う。 (鹿児島港⇒桜島港) ②交通局は、住民搬送のための避難用バスを横山市営バス駐車場へ向かわせる。 現地災害対策本部はバス毎に添乗員を配備し、各出発地点に向かわせる。 (東白浜バス停・桜島支所・東桜島合同庁舎・高免集会所)</p> <p>3【避難指示（緊急）の発令】 災害対策本部からの無線放送を受け、住民は直ちに最寄りのバス停に移動し、避難用バスに乗車し、桜島港からフェリーで鹿児島市街地側の避難所へ避難する。 避難用バスは、ピストン方式で各出発点から溶岩グラウンドまで各バス停の避難者を輸送する。 消防団員は消防車で地域内を巡回し、住民に対して避難の広報を実施するとともに、残留者がいないことを確認する。 警察部隊はパトカー、トラメガ等で避難指示等を住民に広報する。</p>
12-2	避難用バスによる 住民避難訓練	11:15	<p>鹿児島市災害対策本部から指示を受けた避難用バスは、各バス停に避難している住民等を乗せ、<u>桜島白浜町から西側及び東桜島町から西側は桜島港からフェリーで、高免町から東側は黒神口から陸路で</u>それぞれ島外の避難所へ向かった。</p>	

の 概 要	実施機関及び協力機関	使用資機材等
高免町から東側	機 関 名	
同左	町内会（自主防災組織） 民生委員 消防分団、住民	
<p>1 【避難準備・高齢者等避難開始の発令】</p> <p>同左</p> <p>2 【避難用バス・船舶の派遣要請等】</p> <p>② 協和交通は住民搬送のための 避難用バスを桜島黒神口広場へ向かわせる。 現地災害対策本部はバス毎に添乗職員を配備し、各出発地点に向かわせる。（東白浜バス停）</p> <p>3 【避難指示（緊急）の発令】</p> <p>災害対策本部からの無線放送を受け、住民は直ちに最寄りのバス停に移動し、避難用バスに乗り、黒神口から陸路で鹿児島市街地側の避難所へ避難する。 （想定）</p> <p>同左</p> <p>② 同左</p>	<p>鹿児島市 鹿児島市消防局 鹿児島市消防団 鹿児島市船舶局 鹿児島市交通局 鹿児島県警察 桜島地域建設防災対策協議会 桜島地区住民 東桜島地区住民</p> <p>鹿児島県 鹿児島市 鹿児島市交通局 鹿児島市船舶局 垂水市 協和交通</p>	<p>防災行政無線 一般加入電話 消防車両 消防団車両 警察車両 県警警備艇 避難用バス 車イス 担架 携帯用拡声器 無線機</p> <p>バス 桜島フェリー</p>

番号	訓練種目	時間	想定又は状況	行 動
				桜島白浜町から西側及び東桜島町から西側
12 - 3	【避難状況の 確認・報告】	9:30 ) 11:15	4 【避難状況確認・報告】 各地区の消防団員、避難誘導責任者、町内会長は、住民の避難状況を住民一覧表を使用して確認・報告した。	4 【避難状況確認・報告】 ①消防団員の行動 消防団員は戸別訪問を行い残留者がいないことを確認し、避難誘導責任者に報告する。 ②避難誘導責任者及び町内会長の行動 避難誘導責任者は、避難状況を消防無線等で現地災害対策本部に報告する。 町内会長は、避難状況を電話で現地災害対策本部に報告する。
13	避難者救護訓練	9:30 ) 10:30	【要支援者及び避難住民の救護】 要支援者及び避難住民の救護・体調管理のため、桜島フェリーターミナルに救護所を設置した。(想定)	
14	避難促進施設 避難訓練	8:30 ) 9:30 ) 10:30	桜島の住民に対し9時30分に避難準備・高齢者等避難開始が発令された。避難促進施設は、避難確保計画に基づき利用者等と避難を行う。	各施設は避難確保計画に基づき、利用者避難に関して所掌対策部等と調整 避難確保計画(タイムライン)での避難(DMAT等による支援) 避難行動終了
15	残留者搜索訓練	10:30 ) 11:15	消防、警察、自衛隊は桜島全域において住民の避難状況の確認及び残留者の搜索・搬送を行う。	桜島全域において、住民の避難状況の確認及びカラーコーンで示された残留者の搜索・搬送活動を行う。 ドローンによる危険地域の搜索(残留者は旗で表示)

の 概 要	実施機関及び協力機関	使用資機材等
高免町から東側	機 関 名	
4【避難状況確認・報告】 ①同左           ②同左	住民 鹿児島市 鹿児島市消防局 鹿児島市消防団	防災行政無線 (移動系) 消防車両
	鹿児島県災害派遣医療 チーム (DMAT) 日本赤十字社鹿児島県支部 鹿児島市医師会 桜島病院 鹿児島市消防局 鹿児島市消防団	
同左	避難促進施設	
同左	鹿児島市消防局 鹿児島市消防団 県警察本部 鹿児島中央警察署 陸上自衛隊 海上自衛隊 海上保安庁 県建設業協会鹿児島支部	消防車両 オフロードバイク 消防団車両 自衛隊車両 警察車両 ヘリ UH-60 ドローン

番号	訓練種目	時間	想定又は状況
16	警察用船舶による避難広報訓練	10:30 ┆ 11:00	避難指示発令に伴い、船舶から沿岸部住民に対する避難広報を実施
17	放置車両除去・救出訓練	9:20 ┆ 9:30	現地災害対策本部から要請を受けた日本自動車連盟鹿児島支部と鹿児島市消防局が連携し、救出を行う。
18	傷病者等救出・搬送訓練	9:30 ┆ 10:30	避難促進施設の施設利用者をDMAT車両により搬送支援する。  避難促進施設の施設利用者を海上保安庁及び海上自衛隊のヘリコプターによって空輸する。
19	観光客等避難・誘導訓練	9:00 ┆ 12:00	認定ジオガイドによる観光ツアーの最中に、噴火警戒レベルの引き上げ、避難指示等の発表・発令を確認する。
20	観光施設対応訓練	8:30 ┆ 10:30	①噴火警戒レベル引き上げ、避難指示等の発表・発令 ②観光案内所やホームページ等での注意喚起 ③桜島地域の観光施設等の閉鎖等の対応 (立入防止措置の手順確認)
21	工事関係者避難訓練	8:30 ┆ 10:30	桜島全島に避難準備が発令されたことを受け、島内の工事関係者に避難を促す。
22	避難車両誘導訓練	9:30 ┆ 12:00	桜島全島に避難情報が発令されたことを受け、大隅河川国道事務所及び警察は鹿児島県、鹿児島市と連携し、島内住民の円滑な避難のため、避難車両の誘導を実施する。
23	道路情報板表示訓練	9:30 ┆ 12:00	噴火警戒レベル4の発令に伴い、「桜島口」「袴腰」の道路情報板『防災訓練実施中』を表示する。
24	映像伝送訓練	9:00 ┆ 11:40	桜島島内における活動状況等を撮影し、映像伝送を実施する。  人口衛星を介して無線中継車で映像を受信し、現地指揮本部に映像配信を行う。
25	航空運用調整訓練	8:30 ┆ 12:00	航空機保有機関が多数参加するため、飛来する関係機関の調整を行う。
26	撤収訓練	11:30 ┆ 12:30	残留者捜索終了後、桜島の火山活動がさらに活発化する中で活動隊員の避難が必要となる。

行 動 の 概 要	実施機関及び協力機関	使用資機材等
	機 関 名	
避難指示発令後、赤生原漁港周辺域から沿岸部住民に対する避難広報を実施	県警地域課船舶係	警察用船舶
施錠された放置車両に傷病者を発見し、車外への救出と施設の出入り口通行路を確保するために車両の除去を実施	日本自動車連盟鹿児島支部 鹿児島市消防局 桜島苑	レッカー車 消防車両
桜島病院、グループホームさくらじま、桜島苑よりDMAT車両による搬送支援（運用検証）を行う。 桜島港沖の巡視船及び鹿屋基地からヘリコプターが飛び立ち、桜島溶岩グラウンド及び野尻ヘリポートより急患者を空輸	鹿児島海上保安部 鹿児島防災航空センター 海上自衛隊 鹿児島県DMAT	ヘリ DMAT車両
噴火警戒レベルの引き上げに伴い、防災行政無線の内容を十分に把握（何が起きているか、どう避難すべきか）し、避難を行う。	桜島ジオサルク 桜島・錦江湾ジオパーク 推進協議会	
①観光施設等に対する情報伝達（電話、FAX、メール等） ※伝達内容：噴火警戒レベル、避難指示等の発表・発令、観光施設の閉鎖等の状況、観光客等への対応等 ②観光案内所での掲出、ホームページでの掲載（想定） ③湯之平展望所及び桜洲小学校～湯之平展望所間、赤水湯之平口～湯之平展望所間にバリケードや看板を設置する。	鹿児島市観光交流局 桜島地域観光施設等  桜島建設防災対策協議会	コーン・バー 看板 軽トラック3台
桜島全島に避難準備が発令されたことを受け、島内で作業中の工事関係者に発注機関（担当）から連絡し、避難情報の伝達を行う。	大隅河川国道事務所 鹿児島森林管理署 工事関係者	
桜島全島に避難情報が発令されたことを受け、国道224号「袴腰交差点」及び「桜島口交差点」国道220号「桜島口交差点」「黒神口交差点」において、避難車両の誘導を実施する。	大隅河川国道事務所 鹿児島県 鹿児島市 鹿児島中央警察署・鹿屋署	
道路利用者へ噴火警戒や交通規制等の情報提供を行う。	大隅河川国道事務所	
桜島島内における活動状況等をヘリサットシステムにて撮影し、映像伝送を実施する。 人口衛星を介して無線中継車で映像を受信し、現地指揮本部に映像配信を行う。	防災航空隊 鹿児島市消防局	
多数の航空機が飛来することから、航空運用調整班に隊員を配置する。基本県庁災対本部に派遣するが、今回は桜島港フェリーターミナル災対本部に1名派遣する。またフライトサービスを設置し、航空機の進行調整を行う。 ※フライトサービス：溶岩グラウンドに設置予定	県防災航空センター 鹿児島国際航空株式会社	普通車1台 （移動用）
残留者捜索終了後、消防職員及び消防団員が桜島島内からの撤収行動を開始する。	鹿児島市消防局 鹿児島市消防団員	



番号	訓練種目	時間	想定又は状況
27	LINEを活用した関係機関等の情報共有	8:30 ┆ 12:00	LINEのOpenChat（オープンチャット）機能を活用して関係機関の情報共有を行う。
28	海面監視訓練	10:05 ┆ 11:05	桜島の異常現象
29	火山砂防情報伝達訓練	8:30 ┆ 12:00	昭和火口からの噴石や火砕流・降灰を想定して、情報収集・情報伝達を行い、火山噴火に起因する溶岩流・火山泥流等の災害に迅速に対処し、想定される災害から保全対象地の減災を図る。
30	炊飯支援訓練	9:00 ┆ 13:00	桜島住民の避難に伴い、県及び鹿児島市は食糧確保に努めたが停電・断水等により給食が不足したため、さくらじま旬彩館を中心に炊き出しが行われた。

行 動 の 概 要	実施機関及び協力機関	使用資機材等
	機 関 名	
桜島火山爆発に伴う避難対応における火山活動の状況、市避難情報の発令状況、残留者等に対する対応要領等についてLINEのOpenChat（オープンチャット）の機能を活用した情報共有を行う。	全参加機関	
高所監視カメラ及び消防車による高台からの沿岸部の海面監視	鹿児島市消防局	消防車 携帯無線機 双眼鏡
①溪流内への土石流検知センサーの設置状況及び火山監視を公共ブロードバンドで伝送する。 ②情報収集車にて映像を撮影、Ku-SATで本部に伝送 ③衛星通信車のカメラで会場訓練状況を撮影する。 ④訓練状況の映像を衛星通信車で受信し本部に伝送する。	大隅河川国道事務所	情報収集車(鹿国) 公共ブロードバンド 移動無線装置(整備局) 衛星通信車(鹿国) 対策本部車(鹿国)
①さくらじま旬彩館と協同して炊き出しを実施 ②連携体制の確立、情報共有。	さくらじま旬彩館 鹿児島大学	炊事用具一式